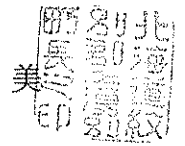




上総企 第19号  
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

上湧別町長 原 田 雅 美



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号により照会のありました、中期的計画作成に係る市町村意見につきまして、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願いたします。

## 中期的な計画作成に係る意見

市町村名 上湧別町

### 1. 道路整備について

地方では、少子高齢化、人口の減少による過疎化が深刻な状況にあり、地域福祉や医療、経済など様々な面で都市部との地域間格差が拡大しつつあります。

地方における道路整備はまだ十分とはいえず、都市との移動時間の長さはそのまま地方のハンディキャップとなっている状況であり、人と物が高速で安全に移動できる高規格幹線道路網の整備は、地域の救急医療の確保、産業振興など重要な課題となっています。

また、近年オホーツク地域は大雪や災害などに見舞われ、災害時の安全な非難道路の確保や緊急車両の通行に不安が残りますので、下記課題の解決のため充実した道路政策が必要です。

- (地域課題) 緊急時の高次医療施設へのアクセス時間の短縮
- 地域間交流の促進、観光振興に寄与する道路網の整備
- 農畜産物、海産物輸送など産業物流の高速化
- 災害時の安全な非難体制の確保

### 2. 道路管理について

本町を通る国道242号線は、町内はもちろん西紋地区からも第2次医療施設への救急車両の交通が多い道路となっています。さらに最近では、津波警報の発令による沿岸住民の非難などで国道が混雑した状況もありますので、特に冬期間における車道の確保と市街地の除排雪強化による渋滞解消は地域住民の安全で安心な生活に不可欠です。

また、オホーツク地域は夏場、多くの観光客が国道を利用しますが、国の予算縮減により十分な草刈が行われず景観を損なっていると思われれます。景観は美しい山や川が見えるポイントだけではないと考えますので、観光を振興する北海道にふさわしい道路景観に配慮した管理体制を望みます。